



宮古市
Miyako City

地域脱炭素推進事業

ゼロカーボンシティの実現
地域内経済の好循環を目指して



国指定名勝「浄土ヶ浜」

岩手県 宮古市
企業版ふるさと納税寄附募集プロジェクト

本州最東端のまち「みやこ」

(プロジェクトの概要)

宮古市では、省エネルギー化と再生可能エネルギー導入の取り組みを加速させ、「地域脱炭素の実現」と「地域内経済循環の拡大」を目指しています。

再エネの取り組みは、東日本大震災の経験を教訓に始まりました。

現在、目指す地域の将来像に「エネルギーの地産地消で実現するゼロカーボンのまち～恵み豊かな自然の継承と地域内経済循環～」を掲げ、取り組みを継続しています。

さらに、令和4年に環境省の「脱炭素先行地域」の選定、令和5年度には同省の「脱炭素重点対策実施地域」の採択を受けたことが追い風となっています。

震災後から継続してきた再エネの取り組みを強みに、省エネ、蓄エネを組み合わせ、ゼロカーボンシティの実現につなげます。



脱炭素先行地域
岩手県宮古市

目指す
将来像は…

**再エネの地産地消
地域脱炭素
地域内経済循環**



(事業の具体的な内容)

▷ 夜間連系太陽光発電所の整備

令和7年度稼働に向け、東北初の夜間連系太陽光発電所の工事が始まりました。併設する蓄電池を活用し、既存の発電所と連携し、地産の再エネ電気を供給する計画です。

▷ 「再エネ電力供給住宅」達成に係る支援

「再エネ電力供給住宅」達成のため、再エネ電力メニュー契約とあわせた太陽光発電設備(10kW未満)、蓄電池の導入に対し、支援しています。

▷ その他の取り組み

「住宅の省エネ化」「電気自動車等導入」「市民の意識向上・行動変容の促進」等、「再エネの地産地消」「地域脱炭素」「地域内経済循環」につながる取り組みを実施しています。



(事業費)

約12億8,700万円

(寄附目標額)

5,000万円

(企業の皆様へのメッセージ)

環境省の地域経済分析によると、宮古市全体のエネルギー購入費用：約112億円が市域外に支払われていると推計されています。

自分たちでエネルギーを創り出して使う、つまり、再生可能エネルギーを地産し、地消できれば、この莫大な費用の何割かを市内に留まらせることができ、地域の中で経済の好循環を創り出せると考えています。

「地域脱炭素」と「地域経済の好循環の拡大」を同時に実現できる取り組みにご賛同をお願いします。